

HULFT Squareアプリケーション仕様書

Snowflake_Azure_Public_IP_取得

Snowflake_Azure_Public_IP_取得 HULFT Squareアプリケーション Overview

本アプリケーションについて

本アプリケーションはAzureからパブリック IP を取得し、Snowflake上のネットワークルールのパブリック IPを洗い替えるスクリプトサンプルをアプリケーション化したものです

スクリプトをコピー後、状況に合わせてワークスペース・コネクション等カスタマイズすることを推奨します

INDEX

スクリプト利用手順

- ・コネクション設定(Azure側)
- ・ワークスペース設定とフォルダ作成(HULFT Square側)
- ・コネクション設定(HULFT Square側)
- ・スクリプト利用上注意

スクリプト詳細

- ・スクリプト設定 (01)
- ・スクリプト設定 (02)

Snowflake_Azure_Public_IP_取得 HULFT Squareアプリケーション コネクション設定(Azure側)

コネクション設定

HULFT SquareからAzure REST APIへの接続に必要な設定に関して記述します

Azure側設定(前提条件)

- 以下Azureサービスの「アプリの登録」においてアプリ登録を行い、APIの利用が可能であることを確認します
<https://learn.microsoft.com/ja-jp/entra/identity-platform/quickstart-register-app?tabs=certificate>
- 登録したアプリケーション内でクライアントシークレットを作成してください。
- 登録したアプリケーションから以下の値をメモしておきます。

tenant_id
client_id
client_secret

ホーム > [検索] ✕ ...

検索 [検索] ◊ << 削除 終了ポイント プレビュー機能

概要

クイック スタート
統合アシスタント
問題の診断と解決
管理
ブランド化とプロパティ
認証
証明書とシークレット

少しお時間があれば、Microsoft ID プラットフォーム (以前は開発者向け Azure AD) に関するフィードバックをぜひお寄せください。 →

基本

表示名	:	[マスク]	クライアントの資格情報	:	0 証明書、1 シークレット
アプリケーション (クライアント) ID	:	[マスク]	リダイレクト URI	:	0 個の Web、1 個の SPA、0 個のバックグラウンド クライアント
オブジェクト ID	:	[マスク]	アプリケーション ID の URI	:	api: [マスク]
ディレクトリ (テナント) ID	:	[マスク]	ローカル ディレクトリでのマネ...	:	[マスク]
サポートされているアカウント...	:	所属する組織のみ			

ホーム > DSS_REST_API

[検索] | 証明書とシークレット ✕ ...

検索 [検索] ◊ << フィードバックがある場合

概要

クイック スタート
統合アシスタント
問題の診断と解決
管理
ブランド化とプロパティ
認証
証明書とシークレット

資格情報は、Web アドレスの指定が可能な場所 (HTTPS スキーマを使用して) トークンを受信する際に、機密性の高いアプリケーションが認証サービスに対して自身を識別できるようにするためのものです。より高いレベルで保証するには、資格情報として (クライアント シークレットではなく) 証明書を使うことをお勧めします。

アプリケーション登録証明書、シークレット、フェデレーション資格情報は、下のタブにあります。

証明書 (0) クライアント シークレット (1) フェデレーション資格情報 (0)

トークンの要求時にアプリケーションが自身の ID を証明するために使用する秘密の文字列です。アプリケーション パスワードと呼ばれることもあります。

+ 新しいクライアント シークレット

説明	有効期限	値	シークレット ID
[マスク]	2026/4/22	Jo8*****	[マスク]

Azure API仕様

- 本スクリプトでは以下のService Tags - List APIを使用しております。APIの詳細仕様は以下公式ドキュメントよりご確認ください。
<https://learn.microsoft.com/ja-jp/rest/api/virtualnetwork/service-tags/list?view=rest-virtualnetwork-2024-01-01&tabs=HTTP>

Snowflake_Azure_Public_IP_取得 HULFT Squareアプリケーション ワークスペース設定とフォルダ作成(HULFT Square側)

ワークスペース設定とフォルダ作成

HULFT Square アプリケーションの動作に必要なワークスペース設定とAPIから取得したデータを格納するフォルダを作成します

ワークスペース設定

コネクションとプロジェクトとAPIから取得したデータを格納するワークスペースを作成します

※すでにワークスペースが利用可能な場合、本手順は不要です

ワークスペース設定(オレンジ色項目は必須項目)

名前	環境に合わせて任意選択
説明	任意
ユーザー	環境に合わせて任意選択
グループ	環境に合わせて任意選択

フォルダ作成

APIから取得したデータを格納するフォルダを作成します

※任意のワークスペースを作成した上で、以下のフォルダを作成します

ストレージ設定(オレンジ色項目は必須項目)

ワークスペース	環境に合わせて任意選択
ディレクトリ名	Azure_Public_IP_取得

Snowflake_Azure_Public_IP_取得 HULFT Squareアプリケーション コネクション設定(HULFT Square側)

コネクション設定

HULFT SquareとAzure REST APIの接続に必要な設定に関して記述します

HULFT Square側設定

APIリクエストを送信するための設定を作成します

アクセストークン取得用コネクション設定(オレンジ色項目は必須項目)

コネクタタイプ	REST接続
名前	REST接続設定_Azure_REST_login
ワークスペース	環境に合わせて任意選択
説明	任意
URL設定	https://login.microsoftonline.com
プロファイル	任意
備考	認証用のコネクション。アクセストークンを取得する際に使用する。

リクエスト用コネクション設定(オレンジ色項目は必須項目)

コネクタタイプ	REST接続
名前	REST接続設定_Azure_REST_management
ワークスペース	環境に合わせて任意選択
説明	任意
URL設定	https://management.azure.com
プロファイル	任意
備考	パブリック IP取得用のコネクション。Service Tagごとのパブリック IPを取得する際に使用する。

コネクション設定

HULFT SquareとSnowflakeの接続に必要な設定は以下の通り

HULFT Square側設定

Snowflakeに接続するための設定を作成する

- ・既にSnowflake接続設定が存在する場合、既存のコネクションを使用することも可。
- ・ネットワークルールと紐づいているデータベース名・スキーマ名を選択されているコネクション設定が必要。

接続用コネクション設定

コネクタタイプ	Snowflake接続設定
アカウント識別子	https://xxxx.xxxxxxxx.snowflakecomputing.com
ウェアハウス名	対象ネットワークルールと紐づく任意のウェアハウス名
データベース名	対象ネットワークルールと紐づく任意のデータベース名
スキーマ名	対象ネットワークルールと紐づく任意のスキーマ名
Enter URL directly	チェック無し (任意)
URLを直接入力する	任意
ユーザ名	任意のユーザ名
パスワード	上記ユーザのパスワード

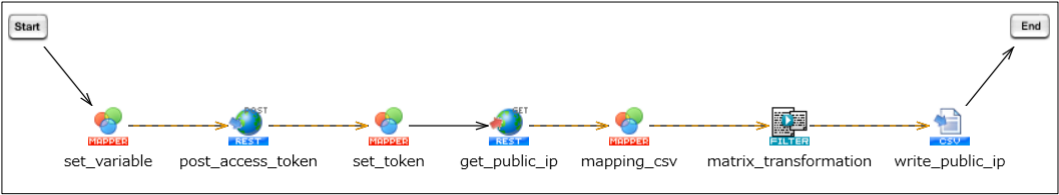
Snowflake_Azure_Public_IP_取得 HULFT Squareアプリケーション
スクリプト利用上注意

利用について

- ・本スクリプトは外部のデータ提供元に接続しデータを取得します
- ・本スクリプトの利用者はデータ提供元の利用規約に同意した上でスクリプトを利用してください
- ・取得されるデータの正確性、完全性、最新性、網羅性等のデータに対する内容はスクリプト上では保証されません
- ・データ提供元のサービス提供の変更やAPI仕様変更に対して、本スクリプトでは保証されません

Snowflake_Azure_Public_IP_取得 HULFT Squareアプリケーション
スクリプト設定(Azure_get_Service_IPs)

スクリプト全体図



* 各設定のオレンジ色の設定箇所は、アプリケーションをインストールするだけでは設定されないため、アプリケーションをインストール後に手動で入力してください

スクリプト動作概要

Azure REST API を使用して、提供するサービスごとのパブリック IP を取得し CSV ファイルへ出力します。
取得した CSV は以下に格納されます

CSV格納先	/[指定したワークスペース名]/Azure_Public_IP_取得/Azure_Service_Tags_List.csv
--------	--

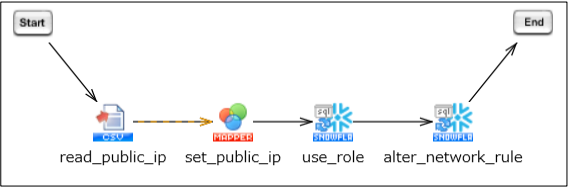
スクリプト変数

I_tenant_id	Azureに登録したアプリケーションより取得した値を入力
I_location	取得したいロケーションの名称を入力
I_subscriptionId	アプリケーションに登録したサブスクリプションIDを入力
I_systemService	AzureAD ※この記述を変更することで、他のAzureサービスのパブリック IP を取得することも可能です。
I_AccessToken	スクリプト内で取得するため初期値無し
I_client_secret	Azureに登録したアプリケーションで作成したクライアントシークレットの値を入力
I_client_id	Azureに登録したアプリケーションより取得した値を入力
LC_resource	https://management.core.windows.net/
LC_grant_type	client_credentials
LC_api-version	2024-01-01

※API仕様についてはデータ提供元のAPI仕様書を参照ください
<https://learn.microsoft.com/ja-jp/rest/api/virtualnetwork/service-tags/list?view=rest-virtualnetwork-2024-01-01&tabs=HTTP>

Snowflake_Azure_Public_IP_取得 HULFT Squareアプリケーション
スクリプト設定(Snowflake_alter_network_rule)

スクリプト全体図



* 各設定のオレンジ色の設定箇所は、アプリケーションをインストールするだけでは設定されないため、アプリケーションをインストール後に手動で入力してください

スクリプト動作概要

Azure のパブリック IP が書き込まれた CSV ファイルを読み取り、Snowflake の指定したネットワークルールに登録された IP を洗い替えます。
読み取る CSV ファイルは以下に格納します。

CSV格納先	/[指定したワークスペース名]/Azure_Public_IP_取得/Azure_Service_Tags_List.csv
--------	--

スクリプト変数

L_Public_IP	CSVファイルから読み込んだIPを格納します。
L_NETWORK_RULE_NAME	IPを洗い替えたいネットワークルールの名前を入力

コンポーネント名

use_role


use_role

コンポーネント概要

ネットワークルールをALTER NETWORK RULEできる権限を設定する。
※必須設定以外はそのまま問題無し。

必須設定

接続先	対象ネットワークルールと紐づいているデータベース名・スキーマ名を選択されているコネクションを選択する。
SQL文	USE ROLE ACCOUNTADMIN; ※対象ネットワークルールを操作できるロールをUSE ROLEする。

コンポーネント名

alter_network_rule


alter_network_rule

コンポーネント概要

対象ネットワークルールにIPの洗い替えを行う。
※必須設定以外はそのまま問題無し。

必須設定

接続先	対象ネットワークルールと紐づいているデータベース名・スキーマ名を選択されているコネクションを選択する。
SQL文	ALTER NETWORK RULE "\${NETWORK_RULE_NAME}" SET VALUE_LIST = (\${Public IP});